

H30 年度マイスター講座

後期校外学習だより

マイスター講座運営委員会

行き先：大鳴門『渦の道』、美馬市脇町『うだつの町並み』、阿波市『阿波の土柱』

実施日：平成 30 年 10 月 30 日（火） 出発 8:30～帰着 18:30

当日の曙、二上山上空の雲間より茜色に染まる日の出を見て、思わず手を合わせていました。最高温度も 20℃とのこと。この天気なら、今日の行事は合格点をもらえそうです。喜び勇んで、集合場所へと急ぐ。バスは 5 台で 194 名を乗せて、阿波の国へと走る。

10 時半には鳴門公園に到着。大鳴門橋遊歩道「渦の道」は 1985 年に完成。450m の海上散歩道。

大潮の時間は過ぎていたので、大きな渦は見られなかったが、海上 45m のガラス床から覗くとスリル満点。潮の流れがハッキリと分かる。

11 時 40 分からは、すぐそばの「うづの家」で懐石料理を賞味する。完食して大満足。



12 時 40 分出発。バスは美馬市脇町「うだつの町並み」へと走る。ガイドさんの案内の声が子守歌。うつらうつらと舟をこぐお昼寝タイム。1 時間ほどで「うだつの町」に到着。ボランティアの方の案内で散策。「うだつって何？」と疑問に思っていたが、やっと納得する。

うだつとは、火事の時、隣に類焼するのを防ぐために一階と二階の間の屋根に漆喰で作られた囲いです。だんだんと家の装飾として豪華になったそうです。今も、様々のうだつが飾られた家並みが国の重要伝統的建造物群保存地区として守られています。吉野川のそばで藍染めの藍を栽培し、江戸時代から豊かな町だったそうです。ことわざの「うだつが上がりぬ」はここが発祥の地。



最後は「阿波の土柱」へと走る。土柱は 130 万年前の氷河時代に堆積した扇状地がその後隆起し、雨水の浸食作用を受けて、いくつもの土の柱が並び、カーテンのひだのように連なっている。このさまはまさに雄大な自然の芸術品とうたわれています。

15 時 40 分帰路へ。淡路サービスエリアで休憩をとり宝塚へと急ぐ。あたりはすっかり暗くなり黄昏の街を眺めながら 18 時 30 分到着。トラブルもなくけがもなく、お疲れ様でした。

